

①個別データシート

整理番号:

JP111032

種類

エネルギー

英名

Crude coal tar

分類

石油製品・石炭製品

和名

コールタールのボイラーでの燃焼

・GHG排出量

8.17E-02 kg-CO₂e/MJ

・情報源分類

その他調査データ

・技術記述子

燃焼・タールの製造

・技術の内容と機能

(原料採取～原材料製造～採掘～選炭～乾留)～燃焼

・情報源

C重油(kg)相当のタールの燃焼

財団法人 石油産業活性化センター:“石油、LNG及び石炭のLCA手法による比較に関する調査報告書”,(1999)
独立行政法人経済産業研究所,“総合エネルギー統計の解説/ 2007年度改訂版”,(2009)
環境省・経済産業省,“温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.3.0”,(2010)
環境省,“平成13年度大気環境に係る固定発生源状況調査”,(2003)

・データ作成者コメント

タールの燃焼に伴う大気圏排出物を温暖効果ガス排出量報告・算定マニュアル、国内ボイラの平均的な排煙脱硫率(82.1%)および脱硝率(64.3%)として算出。

・適用範囲

温暖効果ガス排出量報告・算定マニュアル、国内ボイラの平均的な排煙脱硫率(82.1%)および脱硝率(64.3%)として、タールの燃焼に伴う大気圏排出物を算出したものである。

・システム境界

資源採取からコールタールの製造を経て、ボイラーでの燃焼までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。容器充填を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。

・配分

共製品はなく配分なし。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、当該燃焼由来のCO₂(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考
資源/原材料	中間フロー	入力	コールタール	粗製コールタール	2.68E-02	kg	コールタールの 発熱量 37.3MJ/kg
大気圏排出物	基本フロー	出力	ばいじん		1.07E-05	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	SO2		1.10E-04	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	NOx		3.54E-05	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	N2O		1.70E-08	kg	
大気圏排出物	基本フロー	出力	CO2		7.67E-02	kg	
製品	中間フロー	出力	燃焼・タール	燃焼・タール	JP111032	1.00E+00	MJ